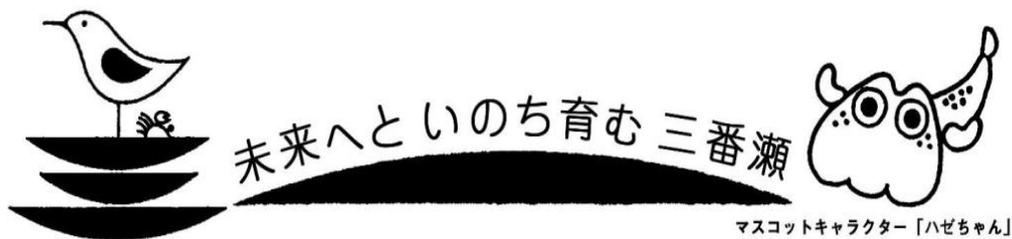


# 平成22年度 三番瀬自然環境合同調査 報告書



平成23年3月  
千葉県環境生活部自然保護課

# 目 次

## I 三番瀬自然環境合同調査の概要、結果

1	目的	1
2	現地調査	1
3	勉強会等	2
4	調査結果	2

## II 参加者の班別考察結果報告書

第1班	10
第2班	24
第3班	48
第4班	70
第5班	83

## 参考資料

平成22年度調査票（平成22年6月12日（土）分）

平成22年度調査票（平成22年8月8日（日）分）

# I 三番瀬自然環境合同調査の概要、結果

## 1 目的

県民、NPO等が中心となって、指導者のもと「三番瀬自然環境モニタリングマニュアル」を活用しながら、三番瀬の自然環境についての調査（試料の採取、同定、結果の取りまとめ、考察、報告書の作成など）を行うことにより、参加者の三番瀬に対する理解を深めるとともに、モニタリングについての知識、技術等を習得していただき、そこから広く市民・NPOにモニタリングへの参加の幅を広げていくことを目的としています。

## 2 現地調査

### (1) 調査地点

浦安市日の出地先の海域で、北緯 $35^{\circ}38'26.8''$  東経 $139^{\circ}56'20.3''$  付近を基準点とする10地点で調査を実施しました。  
(図1、図2) このエリアは、大潮時に広く干出する場所です。

### (2) 調査日

平成22年6月12日（土）と平成22年8月8日（日）に実施しました。

### (3) 調査方法

調査は、指導者の指導のもと、県と参加者が協働して行いました。

まず、調査地点の緯度・経度、天候、水温、酸化還元電位、底質などについて、測定を行ったうえで、地点ごとに「たて20cm×よこ20cm×深さ20cm」の採泥を行い、ふるいにかけて、残った生物を採取し、同日にソーティング、同定を行いました。

また、ソーティング・同定については、浦安市郷土博物館の島村氏、千葉県立保健医療大学の榎本氏、東邦大学の多留氏、千葉工業大学の村上氏、千葉県環境研究センターの小倉氏、千葉県生物多様性センターの熊谷氏、柳氏の指導・助言のもと参加者が行いました。

※ソーティング：試料の中から動物だけを選び分ける作業

※同定：種名を特定する作業

### 3 勉強会等

参加者が調査方法や三番瀬の生き物について学ぶとともに、調査結果の考察などを行うため、事前勉強会、考察会、勉強会（発表会）を開催しました。

- (1) 事前勉強会（平成22年5月29日（土）環境研究センター会議室）  
事前勉強会では、「現地調査方法について」、「ソーティング・同定体験」などを実施しました。  
また、千葉県立保健医療大学の梶本氏から「三番瀬の生物」について、講演をいただきました。
- (2) 考察会（平成22年9月26日（日）浦安市郷土博物館）  
考察会では、6月12日（土）と8月8日（日）に実施した現地調査の結果について、各班に分かれて指導者から指導を受けながら考察を行いました。
- (3) 勉強会（発表会）（平成22年12月5日（日）環境研究センター会議室）  
勉強会（発表会）では、各班の考察結果について、発表を行いました。

### 4 調査結果

酸化還元電位等調査地点の状況は、5ページと6ページの表1-1、表1-2のとおりです。

採取した底生生物の個体数、湿重量は7ページと8ページの表2-1、表2-2のとおりです。